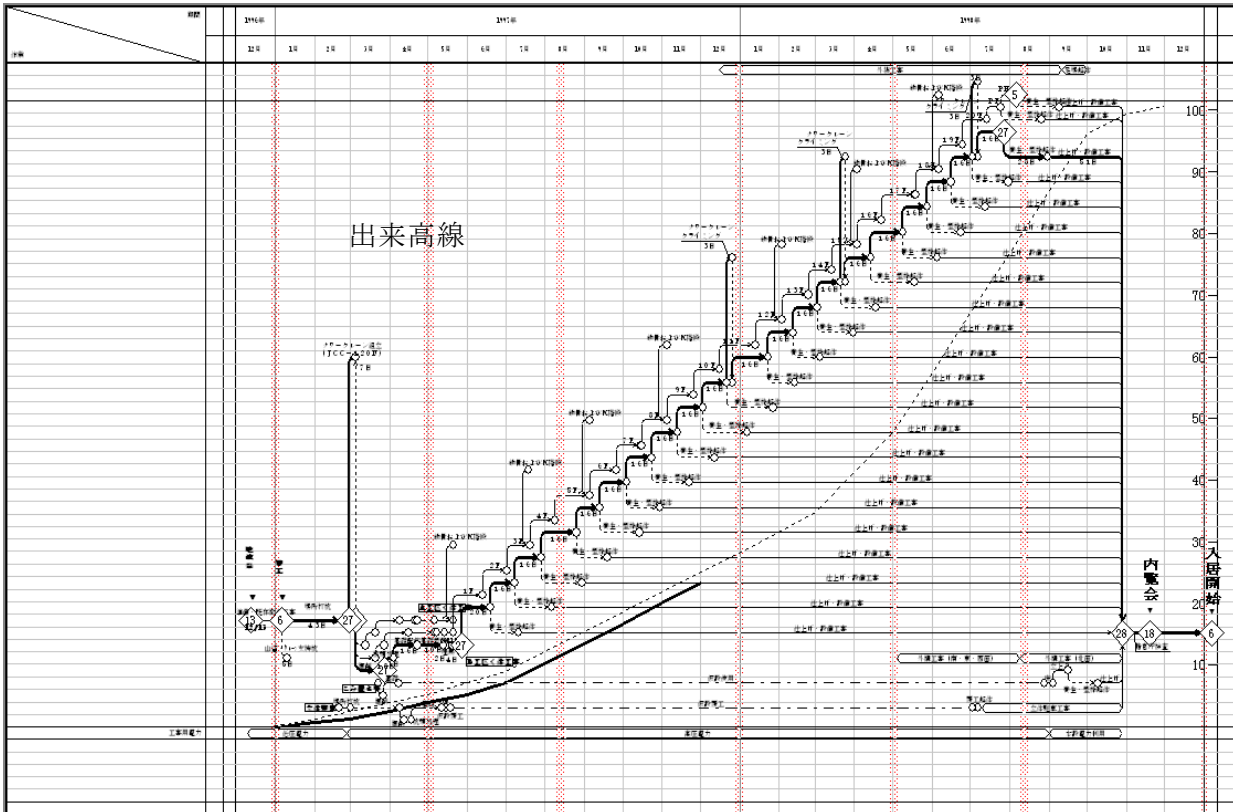



出来高線の作成

出来高線は山積表の折線機能を基本として折線ポイントや目盛表示、資源の計算方法を拡張した形で実現されています。

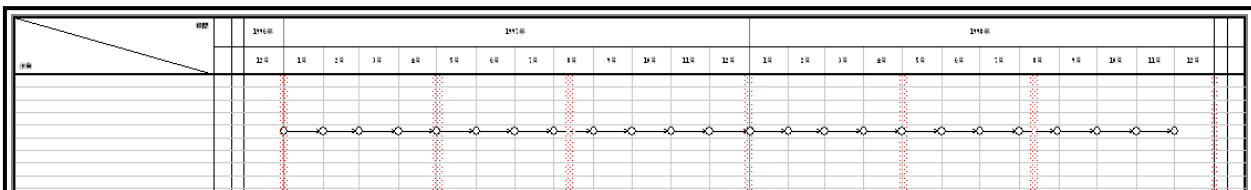


出来高線は次のような手順で作成されます。

1. 出来高を格納する工程の作成

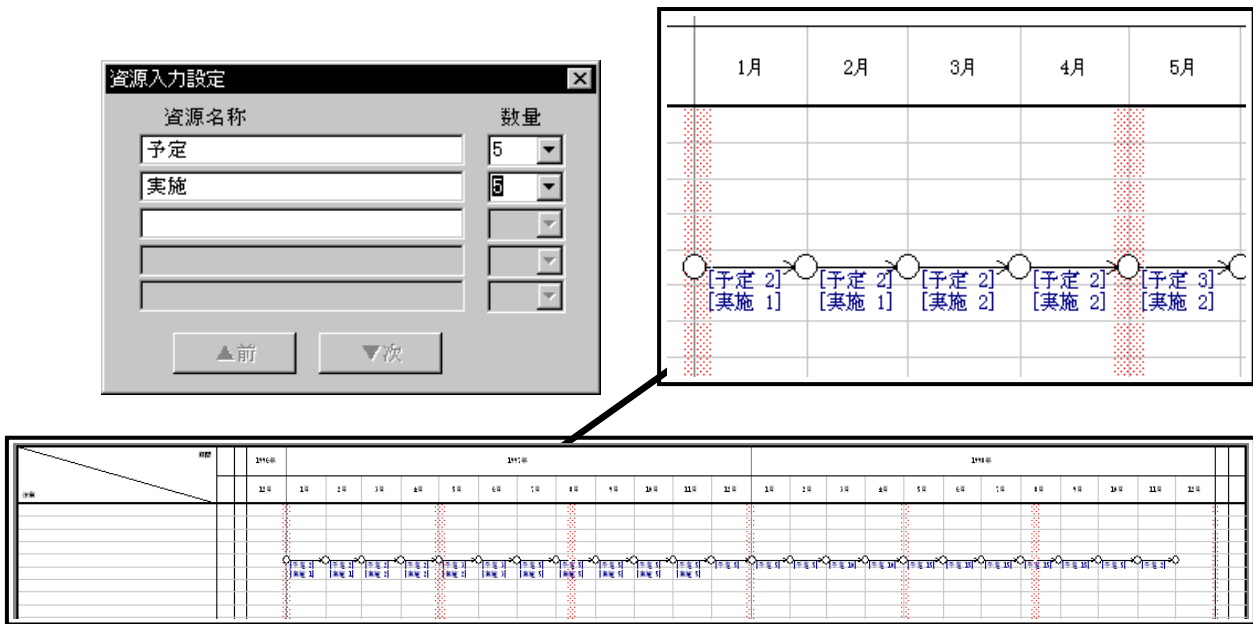
「スクロール 下へ」ボタン  (またはメニューより) を押し下ページを表示して、出来高を格納するためのダミー工程を作成します。

(ダミー工程が印刷時に表示されないようにするため下のページに作成するとよいでしょう。)



2. 資源名の作成と資源(出来高)の入力

他の資源との区別が出来る名前を資源名として作成し、それぞれのダミー工程に工数を入力していきます。



3. 出来高線の設定

工数の入力が終われば「スクロール 上へ」ボタン (↑) (またはメニューより) を押し元の工程が描かれたページに戻ります。

そして山積モードに切り替えて「出来高線表示」ボタンを押し、出来高線設定ダイアログを表示します。出来高合計値を設定(この場合資源名「予定」の工数の総数156)し、出来高として表示したい資源をチェックします。

(出来高線の線種を変える場合は線のボタンを押して折線グラフの線種設定ダイアログで行います)

The '出来高表設定' dialog box has the following settings:

- グラフ: 目盛
- 出来高 合計値: 156 (※この値が100%時の値となります)
- Resource selection table:

<input checked="" type="checkbox"/>	予定
<input checked="" type="checkbox"/>	---	実施
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

The '折線グラフの線種設定' dialog box has the following settings:

- 線色: 黒
- 線種: 点線
- 線幅: 標準

4. 出来高線の表示

山積表の入力と同様マウスで表示したい位置(上辺と下辺)を指定することで出来高線グラフを作成することができます。

